

ブドウの有望品種「ハニービーナス」

来歴 農林水産省果樹試験場安芸津支場(現果樹研究所ブドウ・カキ研究部)で育成された品種。平成10年に農林水産省育成新品種として命名された。

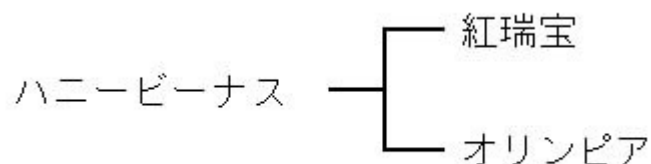


図1 ハニービーナス

特徴

熟期は巨峰とほぼ同時期で、果皮の色は黄緑色である。果粒は巨峰よりやや小さく、平均10～11g程度の短楕円となる。

裂果性はほとんど無く、巨峰と同程度で、肉質は巨峰よりやや堅い。糖度は20度前後で巨峰より2度程度高く、酸抜けも早い。

さらに、特有の良い香りがあり、黄緑色の大粒系としては、ネオマスカットを凌ぐ。ただし、果皮の剥け易さは巨峰よりわずかに劣る。



図2 ハニービーナスの着果状況